

○施策の目標値と令和3年度実績との比較及び評価・検証

数値目標に対する評価

A:	予定どおり(又はそれ以上に)、十分に達成されている。	↗
B:	概ね達成されている。	→
C:	あまり達成されていない。	↘

矢印が上向きは目標達成、または、目標に近づいている  
計画期間

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R 2 実績	R 3					目標 (令和7年度末)	目標値設定の考え方
						実績	対目標値	評価	進捗状況	今後の方向性(考え方)		
① 1人当たり医療費伸率 ※1 (対前年伸率)	0% (0.9%)	2.4% (2.4%)	3.3% (4.1%)	3.2% (2.9%)	2.3% (△0.2%)	2.9% (4.8%)	→	B	概ね順調である	ジェネリック医薬品使用率の向上や保健指導の強化等の対策を引き続き進める。	2.1% 以下に抑制	健全化取組前の伸び3.1% (H24~28平均)の7割に抑制
② 特定健康診査受診率	30.8%	26.6%	33.7%	34.6%	33.9%	35.4% ※2	↘	C	順調でない	受診者へのインセンティブを拡充する等、特定健診受診率向上に努める。	60%以上	国の目標 (第三期特定健康診査等実施計画)
③ 特定保健指導実施率	37.8%	38.4%	41.6%	32.9%	33.2%	20.5% ※2	↘	C	順調でない	未実施者に対する再勧奨通知の発送やICTを活用する等、保健指導実施率向上に努める。	60%以上	国の目標 (第三期特定健康診査等実施計画)
④ ジェネリック医薬品の利用状況 (数量シェア)	74.7%	78.9%	82.2%	84.5%	86.1%	85.8%	→	B	概ね順調である	差額通知の送付により、後発医薬品の利用促進に努める。	80%以上 ↓ 90%以上 (第2期見直し)	R元年度から毎年 1ポイント以上の伸び
⑤ 人工透析患者割合	0.52%	0.52%	0.54%	0.57%	0.58%	0.59%	→	B	概ね順調である	関係団体等と連携を取りつつ、糖尿病や高血圧、慢性腎臓病等生活習慣病発症予防・重症化予防に努める。	0.6% 以下に抑制	H25~27の患者数平均伸率を 2分の1に抑制
⑥ 収納率(現年度分)	89.60%	90.24%	90.81%	91.37%	92.58%	93.26%	↗	A	順調である	預金の電子照会による全滞納者の資力調査ができる銀行を拡充するなど、収納率向上に努める。	91%以上 ↓ 94%以上 (第2期見直し)	中核市上位3割 に当たる収納率(R元)以上
⑦ 収納率(滞納繰越分)	19.47%	20.46%	21.12%	22.33%	23.32%	21.92%	↘	C	順調でない	預金の電子照会による全滞納者の資力調査ができる銀行を拡充するなど、収納率向上に努める。	23%以上 ↓ 28%以上 (第2期見直し)	中核市上位3割 に当たる収納率(R元)以上
⑧ 口座振替割合(普通徴収世帯)	45.21%	44.84%	45.22%	44.66%	44.91%	45.05%	→	B	概ね順調である	国保加入時に口座振替案内を徹底するとともに未利用者に案内を送付し、口座振替率向上に努める。	42%以上 ↓ 50%以上 (第2期見直し)	中核市上位3割 に当たる割合(R元)以上

※1) H28を基準として、その年度までの毎年の平均伸び率を表した数値。R3年度の場合だと、H28年度からR3年度まで毎年平均2.9%の伸びだったことを表している。

※2) 法定報告の数値(R3年度はR4年8月時点)